

アジアにおける農業機械の標準設定に向けた調査事業 [継続]

【14（15）百万円】

対策のポイント

我が国農業機械の基準をアジア標準とするため、ANTAM事務局へテストコードに係る議論をリードするための人材を派遣します。

<背景/課題>

- ・我が国で生産された農業機械は約4割（2,000億円強）が輸出されており、田植機・コンバイン等我が国が強みを有する稲作向け農業機械はアジアに向けて輸出されています。
- ・アジア太平洋地域農業機械試験ネットワーク（ANTAM）はアジア太平洋地域の農業機械の評価試験方法の共通化等を通じ、当該地域における円滑な輸出入の促進と生産・流通・利用される農業機械の品質の安定・向上を図るために、2013年、国連アジア太平洋経済社会委員会の下に設立され、「歩行型トラクター」や「背負式動力散布機」、「田植機」の規格の検討が行われるなど、アジア地域の農業機械のテストコードを標準化・高度化する動きが今後加速していく見込みです。
- ・このため、ANTAMのメンバーとしてテストコードに係る議論に参加し、アジア地域における流通環境の整備や国内供給価格の低減を図る必要があります。

政策目標

平成35年度までに我が国農業機械に係るコストの1割低減

<主な内容>

ANTAM事務局への専門家の派遣

14（15）百万円

我が国農業機械の基準をアジア標準とするため、議論の場となるANTAM事務局に専門家を派遣し、各国の農業機械の普及状況や安全基準の内容等アジア地域における標準設定に向けた検討に資する調査を行うとともに、継続的にテストコードに係る議論をリードします。

〔 拠出先：アジア太平洋地域農業機械試験ネットワーク（ANTAM）
事業実施期間：平成28年度～平成32年度 〕

お問い合わせ先：

大臣官房海外投資・協力グループ

（03-3502-5913）

生産局技術普及課

（03-6744-2111）

アジアにおける農業機械の標準設定に向けた調査事業

事業概要・目的

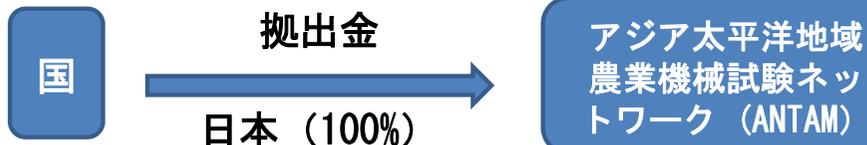
- アジア太平洋地域農業機械試験ネットワーク（ANTAM）
- アジアの農業機械の性能及び安全性の向上、円滑な輸出入の促進等を目的にテストコードを策定
 - 中国、インド、タイ、インドネシア等19カ国が加盟
 - 我が国は平成28年10月に正式加盟

ANTAMにおける農業機械の標準設定に向けた検討状況

- 「歩行型トラクター」、「背負式動力散布機」及び「田植機」の作業部会を立ち上げテストコードに関する議論を開始。
- 今後、「コンバイン」等の我が国が強みを有する稲作向け農業機械の検討が開始される可能性。

ANTAMのメンバーとなることでアジア地域での農業機械の標準設定をリード

資金の流れ



事業イメージ・具体例

ANTAM事務局への専門家の派遣

我が国農業機械の基準をアジア標準とするため、議論の場となるANTAM事務局へ継続的にテストコードに係る議論をリードするための人材を派遣する。

期待される効果

ANTAMでの議論の主導権を握り、アジアの基準を我が国主導で高いレベルで設定



アジア圏内の我が国農業機械の需要を高め、我が国農業機械の更なるコストダウン

我が国主導のテストコードとハーモナイズした農業機械をアジア諸国へ展開
⇒ **我が国農業生産の大幅なコストダウンの実現**